

平成26年2月20日

各位

会社名：古河電気工業株式会社
代表者名：取締役社長 柴田 光義
(コード：5801 東証第1部)
問い合わせ先：IR・広報部長 鈴木 治
(TEL 03-3286-3050)

日光事業所の一部工場建屋等への記録的な大雪による被害に関するお知らせ

(第2報)

平成26年2月17日(月)16:00に開示した掲題の件の現状と操業再開見込みにつきまして、第2報としてお知らせします。

1. 発生事実・日時・場所【既報】

事実：伸銅品である銅合金条等を製造しております弊社日光事業所(栃木県日光市)にて、先週末の記録的な大雪による一部工場建屋の屋根崩落等の被害が発生いたしました。

日時：平成26年2月15日(土)午前

場所：日光事業所(栃木県日光市清滝町500番地)

2. 被害の状況【続報】

人的被害はありません。電気・通信等のインフラは回復し、公道もようやく除雪が完了し開通しました。しかしながら、建屋被害調査による一次判断の結果、一部工程の建屋では甚大な被害があることが判明しました。

現時点での操業再開見込みを次のようにご報告いたします。

3. 操業再開見込み【続報】

◆伸銅品のうち線・棒製品

2月27日からの生産再開に向けて復旧を進めております。

◆伸銅品のうち条関連製品

上工程の casting 及び下工程の条仕上げ関連設備は問題ありませんが、中間工程である素条工程の建屋に甚大な被害が認められたため、一部品種の生産再開まで1ヶ月程度を目標に復旧に取り組んでまいります。なお本格的な生産再開につきましては引き続き調査を進めております。

今後も復旧に向けて最善の努力を重ねてまいります。

4. 業績への影響

今回の被害による当社連結業績に与える影響は現時点では不明です。業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

以上